

農協と組合員をつなぐ広報誌

なかしゅんぱん



中春別へきち保育園の運動会が7月23日(土)に行われ、「チキチキバンバン」「ヤングマン(Y. M. C. A)」の曲に合わせて踊るかわいい園児たちや、父母による紅白リレーなど、会場は大盛り上がり。泣いたり笑ったり、子供から大人まで白熱した運動会となりました。


JA中春別

8月号

2016 Vol. 463



完成予定図

搾乳舎等生乳生産・酪農研修施設地の造成工事が始まりまりました

昨年、中春別地域クラスター協議会が立ち上り、新規就農及び後継者をはじめ

とする担い手育成確保、人材育成のための研修施設の充実を掲げ、農協自らこの

重機による造成工事

取り組みを実施するため、共和育成牧場に搾乳施設の新築を計画し、現行事業と新たに生乳生産及び酪農研修による事業の拡充を図るため、法人組織への事業移譲を計画し、第42回通常総会において承認されました。

新たな法人は、農協出資法人(株式会社)として引き続き組合員の労働力補完システムの的一环として育成預託事業

を中心として事業を行い、新たに地域の担い手育成確保に向けた生乳生産・酪農研修事業に取り組むことになり、地域農業振興計画で掲げた「未来ある地域づくり活動の実践」に向け、地域振興の一助となる組織として運営するべく、関連施設建設に向け、施設地(全酪連中春別育成センター隣接地)の造成工事が始まりました。

今後の予定は、造成工事完了後、9月より搾乳舎、宿泊棟、管理棟、事務所等の建設が始まり、平成29年3月末完成を目指し工事が進められ、4月からの搾乳開始に向け初妊牛の導入が始まる予定です。また、研修生についてはさまざまな機会を通じ募集を行っており、今後、面談などにより受け入れに取組んでまいります。

平成29年度農林水産予算概算要求に係る 意見交換並びに国会議員への要請を実施

中春別酪農対策協議会(伊藤一吉会長)による農政運動を
7月28日～30日に実施いたしました。

平成29年度農業関係予算
に係る中央要請運動として、
8月概算要求・要望に対す
る農業予算に向けた各種対
策への提言や要望等を限ら
れた時間の中で精力的に実

施いたしました。

農林水産省生産局との意
見交換では、伊藤会長より
当地区の近況や概要につい
て説明を行い、農業と漁業
が将来にわたり共存共栄し
うる社会を構築するべく国
営かんがい排水事業の十分
な予算確保や、さまざまな
地域担い手が活用しやす
いよう畜産クラスター関連
事業の拡充や予算確保、新
規就農担い手対策の円滑な
事業の取り進め、地域雇用
に効果の高い酪農ヘルパー
事業についての予算拡充、
草地更新率向上を図るべく
予算の確保等について意見
交換を行いました。

国会議員への要請につい
ては、道内選出議員を中心
に要請し、畜産クラスター
関連事業や国営かんがい排
水事業の予算確保、担い手



対策の充実強化について要
請いたしました。
(要請者)

- 会長 伊藤一吉
- 副会長 高橋真悟
- JA中春別副組合長理
- 事 西川寛稔
- 事務局 水谷 計4人

青年部のページ 互いに協力し合い、絆を大切に未来の酪農を築いていこう

貴重な酪農体験と農家青年との懇親会

根室地区青年部連絡協議会の農水省・JA全中・JA北海道中央会若手担当者酪農実習受入事業

JA中春別青年部では7月26～29日に農水省・JA
全中・JA中央会担当者の受け入れを当青年部の中
山泰輔宅にて行いました。

今回はJA全中・農業対策部畜産園芸対策課より山
野上厚臣(やまのうえあつし)氏を受け入れしました。

27日(水)には、同氏を招き青年部員との懇親会を
農協事務所2階大会議室にて開催しました。根室地
区青協顧問松井和孝氏の乾杯の挨拶の後、懇親会
が始まりました。

山野上氏は「所属しているのが園芸対策課という
こともあり全くの畑違いではありますが、今回の酪農
実習はとても貴重な経験となりました」と満足げな表

情を浮かべていました。また、部員との会話で互いの
仕事内容についてなどの話で盛り上がりあっという間
に夜が更けていきました。



JA全中の山野上氏を招いて懇親会を開きました



丁寧に作業を進めていきます



花壇を綺麗に整えました 園芸グループ花壇整備

小雨が降り体が冷える中、7月26日(火)に花壇整備が行われました。忙しい中たくさんの方のご協力によって、あっという間に見違えるほど綺麗になりました。

した。 沢山の水分と日差しをうけて元気になった雑草はとも大きくなり、抜くのが一苦労なものもありました。花壇の雑草を取り除いた後は、季節ごとに花が楽しめるようにコスモスの種を植えたので秋にかけて夏とは違う花壇の姿を見せてくれることでしょう。これからも花が綺麗に咲き続けられるように、定期的に花壇整備を行う予定です。

別海町長に結果報告と 全道大会へ向けての健闘を誓う

中春別ジュニアホークス

管内少年野球・第2回三友舗道旗・平成28年度第1ステージ予選大会が5月14日～15日に中標津町運動公園で開催され、優勝は逃したものの準優勝した中春別ジュニアホークスの監督、選手たちが7月22日、別海町役場を訪れ町長、教育長を表敬訪問しました。

選手を代表してキャプテンの妻沼紘聖くんから、7月31日から開催されるホクレン旗(札幌市)の全道大会に向けて「今年の目標は恐れず、迷わず、諦めずを目標として練習してきました。全道大会でも頑張ります」と力強い決意が述べられました。

町長、教育長から「今日までの練習の成果を力いっぱい出し、全道大会で頑張ってください」と激励の言葉が贈られました。



別海町役場を訪れ菅根町長 真龍教育長を表敬訪問



全道大会でも健闘を誓う鎌田監督と中春別ジュニアホークスの選手たち



研修牧場の建設予定地を見学された北オホーツク役職員のみな様

担い手・研修牧場の取り組みを紹介

足寄町地方創生調査特別委員会及びJ A北オホーツクが当J Aへ視察に来られました。足寄町地方創生調査特別委員会は7月25日(月)、J A北オホーツクは7月26日(火)に視察先として当J Aを訪れ、バイオガス発電の取り組みや共和育成牧場法人化の事業、新規就農者や担い手への取り組みについて小湊組合長、館内営農部長、友貞生産部長が説明をされました。それぞれの事業を強化していくとの事で取り組みがスタートした経緯や今後、克服すべき課題点など、積極的に質問をされていました。

酪農ヘルパーの資質向上のため 検査業務の実践をし安全の再確認

生乳課検査業務視察研修

6月17日(金)、酪農ヘルパーの資質向上を目的とした生乳課検査業務視察研修を実施しました。

J A中春別の生乳課平間課長の協力を得て、搾乳後の生乳サンプル検査方法の説明を受けました。また、抗生物質残留濃度の検査方法は実践を交えての研修となりました。

職員一人ひとり、事故を起こさないよう細心の注意を払って業務にあたるよう努めています。安全確認や引き継ぎ業務の重要性を再確認する良い機会となりました。



ヘルパー利用組合では今後もこのような研修を定期的開催する予定です。

青年部・女性部合同 お中元ギフトお礼と結果報告

注文総数188セット

今年も青年部・女性部合同お中元ギフトセットの作成、取りまとめを行いました。

今年度は、べつかい乳業興社アイスのAセット、なかしゅんミルクロールのBセット、チクレンハンバーグ・乳ほた餃子のCセット、のセット作成・推進を行いました。

各セットの結果はAセット135セット、Bセット18セット、Cセット35セット。注文総数188セットの注文数をいただきました。多くのご注文ありがとうございました。

来年度以降も消費拡大を目指し、青年部・女性部協力し合い、皆さんにお喜びいただけるセット内容を作るよう考案していきますので、ご協力の程宜しくお願いいたします。





真つ赤なイチゴに「おいしい!」と ホッペがおちそうに

豊原へきち保育園児イチゴ狩り



青野さんが趣味で始めたイチゴづくりも今年で21年目を迎えました。今年はずっと続き長雨、日照不足だったので、甘みが凝縮され香りが口の中いっぱい広がる上品なイチゴが実りました。

イチゴは北海道で一番人気のある「けんたろう」を無農薬で栽培しています。

この日のために豊原保育園児たちは5月から雨の日以外毎日2km程歩く練習をしてきました。7月13日(水)当日は曇りで歩くには最適な気温となり、先生、お父さん、お母さんたちと一緒に豊原へきち保育園から青野牧場までの遠足が始まりました。途中、3回の休憩をとりながら3・7kmの道のりを一所懸命歩き、青野さんが道路に立って園児たちの到着を待っていてくれました。「みなさんお疲れ様でした、この長い距離をよく頑張って歩きましたね。おいしいイチ



ゴが待っていますよ〜!」と園長先生の挨拶と青野さんからの説明を受け、イチゴ狩りがスタートしました。園児たちは真つ赤なイチゴの前に「ねえねえ、見てー!」

このイチゴ大きいよと探し、歩いた疲れは吹き飛びました。たくさん収穫したイチゴを持って記念写真を撮りコミュニケーションホールに移動すると、お母さんたちが集まりイチゴジャムやフルーツポンチなどを作り用意してくれていました。たくさん動いた後お腹もぺこぺこになった子供たちは、「いただきます」の挨拶をしてもりもり食べ始めました。「おいしい!」と、あちこちのテーブルから子供たちと父母の声が聞こえ、自分たちで収穫したイチゴ料理の味を

楽しみました。

イチゴ料理のメニューは、お母さんたちが作ってくれたイチゴジャムを食パンに塗って食べるサンドイッチと、イチゴがたくさん入ったフルーツポンチとイチゴジャムを乗せたクラッカーでした。

お腹がいっぱいになり、元気になった園児たちは友達とのテーブルに移ってみました。お話したりとたくさん思い出ができたイチゴ狩り体験でした。



ポイントを押さえた 乳房炎対策を②

乳房炎は、乳牛の生産性低下に伴う経済的損失だけでなく、作業者の精神的ストレスに繋がります。限られた労働力や作業環境のなかで乳房炎を予防するためには、主に右の3つのポイントが大切になります。

今回は「搾乳手法」について取り上げます。

その1 環境

その2 搾乳手法

その3 乳牛の健康

乳頭先端の損傷は深刻な影響があります

乳頭先端の損傷は、乳房炎発症のリスクを高めます。乳頭に損傷があると乳頭清拭の際に牛が痛がるため、きれいに拭くことすらできません(=搾乳刺激の不足)。さらに、黄色ブドウ球菌などの「細菌の棲み家」になってしまいます。

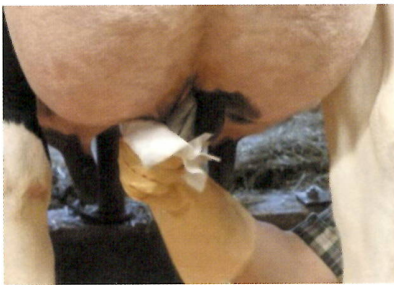
乳頭先端の損傷は、搾乳システムの異常(調圧器やパルセータの異常、高い真空圧など)のほか、**不適切な搾乳手法**によっても生じます。



初産牛に生じた乳頭先端の損傷

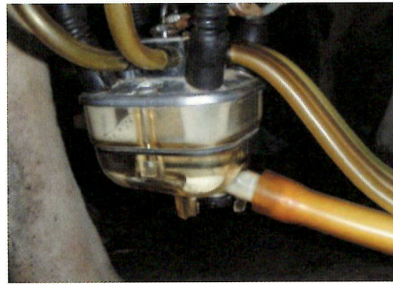
搾乳作業でとくに大切なこと

乳頭損傷を減らし、乳房炎発症のリスクを下げるために、良質乳生産者が搾乳作業のなかで共通して行っている大切なことを、以下にまとめました。



乳頭をとにかく拭く(搾乳刺激をしっかりと与える)

とくに、乳頭口には多くの神経が分布しており、「拭く」という行為は、オキシトシンを分泌するための強烈な搾乳刺激になります。



過搾乳は接待にしない

乳頭が膨らむ前の早すぎるユニット装着、分房に乳がない状態での過度な搾乳は、乳頭にかかる真空圧が高くなり、乳頭先端を傷つけます。

※過搾乳の多くは、搾乳初期に起きているといわれています。乳頭清拭など搾乳刺激の大切さが分かります。



ユニット離脱直後の確実なポストディッピング

ディッピングによって乳頭を殺菌します。乳頭全体が浸るようには確実にを行います。乳頭全体のディッピング剤での浸漬は、乳房炎予防にとって極めて大切な作業です。

ポイントは、十二分な搾乳刺激と過搾乳の防止により乳頭先端を損傷させないこと、確実なディッピングにより乳頭を殺菌することです。

牛は変化を嫌います。作業者全員で同じ作業を行うことが大切です。

H28年度発行の営農改善資料「乳房炎を予防しよう」に詳細を掲載していますので、再度ご確認ください

JAグループ北海道

DOWNLOAD START!

JOYFUL
ATTRACTION
MEETING
PLACE

JAグループ北海道から、
食と農につながる
スマホアプリが新登場!

(ジェイエイ・ジャンプ)

集めて楽しい
ポイント
ラリーも!

農畜産物イベント会場など、
JAグループ北海道の関連施設で
チェックインポイントを集めて、
豪華賞品が当たる
プレゼント抽選会に参加しよう。

チェックイン
スポット
ラリー

オススメ
農畜産物
情報

今月の
特集

お知らせ

JA²MP

JAグループ北海道の
スマートフォン向けアプリ
「JA²MP(ジェイエイジャンプ)」
がスタート!

JAグループ北海道が昨年のJA北海道大会において掲げた、「道民と食と農でつながるサポーター550万人づくり」のプロジェクトとして作成されたスマートフォン向けのアプリの運用が7月から開始いたしました。このアプリは道内のオススメ農畜産物情報やJA関連施設や直売所(チェックインスポット)を訪れた場合に操作するとポイントがたまり、集めたポイント数によって農畜産物が当たる仕組みとなっています。無料配信ですので、登録の程宜しくお願いたします。

①当JAが設定しているチェックインスポット

- ・事務所 ・金融共済課(ATMとJAバンク店舗)
 - ・Aコープ ・ミルク王国 ・給油所 以上6箇所です。
- その他、必要に応じてイベント時などにスポットを設定予定。

②ダウンロード方法

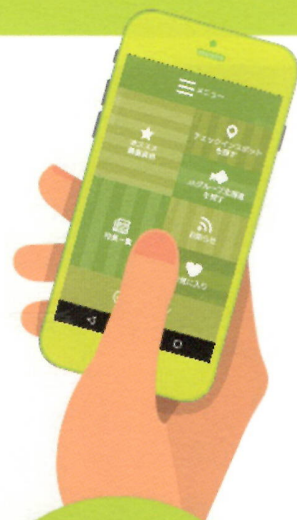
【Android】

- (1) スマートフォンに入っている「Google Playストア」を開く
- (2) 検索欄「ja2mp」と打ち込む
- (3) 「インストール」を選択する

【iPhone】

- (1) iPhoneに入っている「AppStore」を開く
- (2) 検索欄「ja2mp」と打ち込む
- (3) 「インストール」を選択する

その他、記載のQRコードでもダウンロードが可能です。



JA²MP 無料配信スタート!

農業イベントや関連施設のチェックインスポットラリー、直売所から発信するオススメ農畜産物情報など、JAグループ北海道ならではの、おトクなコンテンツが満載です!

食と農のおトクな情報にジャンプ!
JAグループ北海道のスマホアプリ。

チェックインスポットラリー

農業イベントで、ポイントを貯めよう!

季節の農業イベントや、全道各地に多数あるJAグループ北海道の関連施設(直売所、ガソリンスタンド、JAバンクATM、医療施設、Aコープ等)にチェックインすると、ポイントが貯まる!週末などにお出かけの際は、近くのチェックインスポットを探すこともできる、便利で簡単なポイントラリーです。ポイントを集めると、豪華な景品が当たるプレゼント抽選会に応募できます。



オススメ農畜産物情報

直売所からの、とれたて情報をゲット!

全道各地にあるJAの直売所から、旬の野菜、地域自慢の特産品などの情報をタイムリーに発信!お出かけ先近くの直売所で何が売られているかも、簡単にチェックできます。中には、そこでしか手に入りにくい、珍しい農畜産物も...?さらに、直売所までのルートもすぐにナビゲート!



今月の特集

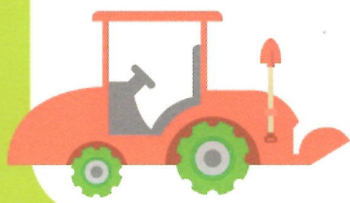
テーマにそって、食と農に関するおトクな情報や、季節の楽しい農業イベントなどを次々とご紹介!毎月更新していく予定ですので楽しみに!

お知らせ

食と農に関する耳よりなニュースを、各JAグループ北海道からお届けします。

ダウンロードはコチラ

App Store からダウンロード
Google Play からダウンロード



●動作環境:iOS 8以降、Android OS 4.4以降を推奨。※OSのバージョン、機種により正しく表示されない場合があります。 ●左記は今後予告なく変更となる場合があります。
●[Android][Google Play]は、Google Inc.の商標または登録商標です。●[iPhone][App Store][iTunes]は、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標または登録商標です。 ●本アプリのダウンロードおよびご利用には別途通信料がかかります、お客さまのご負担となります。(本アプリのバージョンアップの際や本アプリが正常に動作しないことにより再設定などで追加的に発生する通信料を含みます。)



全園児「めざせ!オリンピック〜ロンドン・リオ…そして東京」



団体競技「父母紅白リレー」

笑って、泣いて
中春別へきち保育園運動会



「そーれ!そーれ!負けないぞ」

曇り空のなか7月23日(土)に中春別へきち保育園の運動会が開催されました。準備体操をした後、最初の競技は全園児による「かけっこ」。一所懸命に走っているなか、お父さん、お母さんたちは声援を送

りながら我が子の姿をビデオに納めていました。

「めざせ!オリンピック」ではいくつかの種目をこなし、置いてあるメダルを首からかけ聖火を持ってゴールに向かう競技、園児たちはメダルを目指し全力疾走しました。ひよこ組、ことり組による「チキチキバンバン」。赤と黄色のポンポンを両手に持ち、観客に向かって笑顔いっぱいに踊り、見ている観客を楽しませてくれました。

全園児對抗綱引きでは力いっぱい縄を引っ張り、勢いに負けて転んでしまっても立ち上がり再び縄を引っ張る姿に観客席からは声援が送られました。

父母による紅白リレーでは白熱した走り、バトンパス、子供たちからたくさんのお声援を受けてお父さん、お母さんたちがグラウンドを全力疾走しました。

最後にメイン競技、園児たちによる紅白リレー。今日までの練習の成果を出し精一杯走りました。バトンパスがうまくいかなかったり、走りながら泣きだしてしまいう園児もいましたが、最後



メダルを目指して全力疾走



懸命に走る園児たち

まで諦めずにバトンを繋ぎゴールまで走りました。閉会式では園長先生から園児一人ひとりにメダルが配られ子供たちは大喜び。園児のお父さんが代表し万歳三唱をして運動会は終了しました。参加されたみなさんお疲れ様でした。来年も白熱した運動会を楽しみにしています。

●酪農経営科【委託実習&インターンシップ】

6月6日(月)～10日(金)の5日間、酪農経営科の2・3年生が、農家委託実習とインターンシップを実施しました。

今年度はJA道東あさひ(別海地区4人、西春別地区2人、上春別地区2人)、JA中春別(中春別地区5人)JA計根別(2人)がそれぞれの酪農家さんで4泊5日の委託実習に取組みました。

自家が酪農を営んでいる生徒、非農家の生徒と状況はいろいろですが、

生徒各自、自分に与えられた仕事に対して、投げ出すことなく取り組んでいました。受け入れていただいた酪農家の皆様には、酪農技術や経営のことから、個人個人の進路のことなど丁寧に細やかなご指導をいただきました。この場をお借りして厚くお礼申し上げますとともに、今後とも高校の活動に對しまして、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



西春別 福本牧場さん



別海 加藤牧場さん

●酪農経営科【校内技術競技大会を実施】

6月21日(火)に、農業クラブ3大事業の2つ目となる校内技術大会が行われました。

乳牛審査競技では、本校卒業生の伊藤牧場より育成牛4頭をお



乳牛審査競技の様子

借りし、審査員としてジェネティクス北海道の本木洋一様を招いて実施しました。競技の前には、牛の見方について講義を受け、競技後には模擬講評を実施するなど、関係各位の協力をいただき、有意義に実施することができました。

各競技の最優秀賞、優秀賞は以下の通りです。

【乳牛審査競技】最優秀:2年上神美幸、優秀:1年角田聡太、平野俊弥、努力賞:3年今野永和

【農業鑑定競技(畜産)】最優秀:3年堀有樹、優秀:3年佐藤美稀、小笠原光、努力賞:1年杉本昌也

【農業情報処理競技】最優秀:3年佐藤美稀、優秀:3年堀有樹、内山彩香、中村矢珠子、渡部優歌

●専攻科【農業機械高度利用研修受講】

北海道立農業大学校において農業機械高度利用研修が5月31日(火)～6月9日(木)まで実施され、1年目学生の芳賀亮介さんと松田寛久さんが初級と中級を受講し、農業機械についての基本操作や知識、安全に関する講習、点検について学んできました。中級では研修最終日に行われる技能検定試験に合格すると、北海道農業機械士の資格を取得することができます。研修終了後、「とても充実した研修でした。農業機械についての知識が身につき、点検の重要性も理解できたので、今後の牧草収穫の作業には意識して取り組みたいです」と達成感と今後の意気込みを話していました。



研修(中級)を終えて

●専攻科【酪農機械・施設学】

6月16日(木)～20日(月)まで、3日間、「酪農機械・施設学」の講義を実施しました。この授業は、搾乳に関する手法や生理、ミルカーシステムの構造、また農作業事故が発生した時の対応についての知識を身につける授業です。

【1日目】根室農業改良普及センター主査の内田様より、現場での指導をふまえた搾乳生理と搾乳手法について、北海道オリオン株式会社別海営業所所長の玄様と酪農事業本部の庭木様、和田様より、ミルカーシステムの種類と特徴について詳しくご講義いただきました。



吉田牧場長様による講義

【2日目】根室農業改良普及センター主査の宮崎様、普及指導員の宿澤様より、事例を紹介していただきながら乳牛のカウンセリングについて、別海町酪農研修牧場牧場長の吉田様より正しい搾乳法や研修牧場の役割などについて具体的にご講義いただきました。

【3日目】別海消防署の眞嶋様より救急救命講習(AED講習)や農作業事故発生時の対応についてご講義いただきました。3日間の講義をとおして、学生からは「搾乳に関する知識やミルカーシステムの仕組みをより深く理解でき、農作業事故が万が一発生した場合には、今回の講習を思い出して対応していきたい」という感想がありました。講義にお越しくございました講師の先生方にこの場をお借りして御礼申し上げます。



生乳汚染事故を無くそう！

- **抗生物質混入事故**…………… JA中春別発生件数 **3**件 管内合計では**6**件です。
- **生菌による汚染事故**…………… JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。
- **異物混入(小動物)、加水、血乳による汚染事故**… JA中春別発生件数 0件 管内合計では**2**件です。
- **異臭、異常風味による汚染事故**…………… JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。

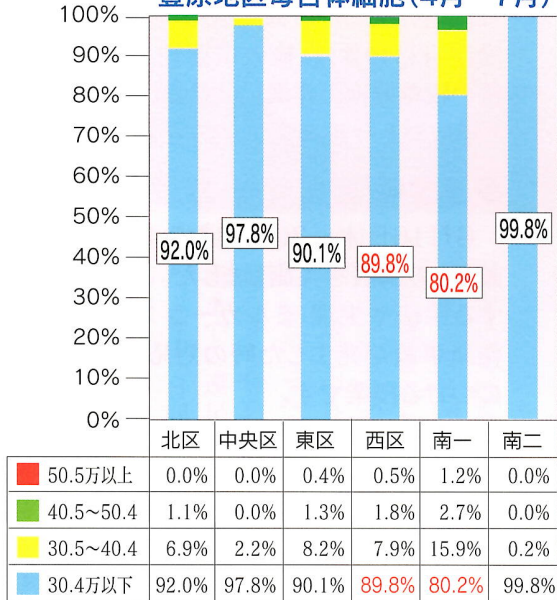
抗菌性物質汚染事故多発

「体細胞、生菌の削減」はもとより、抗菌性物質等の残留事故防止に向けて、生乳主産地の生産者として責務が問われています。

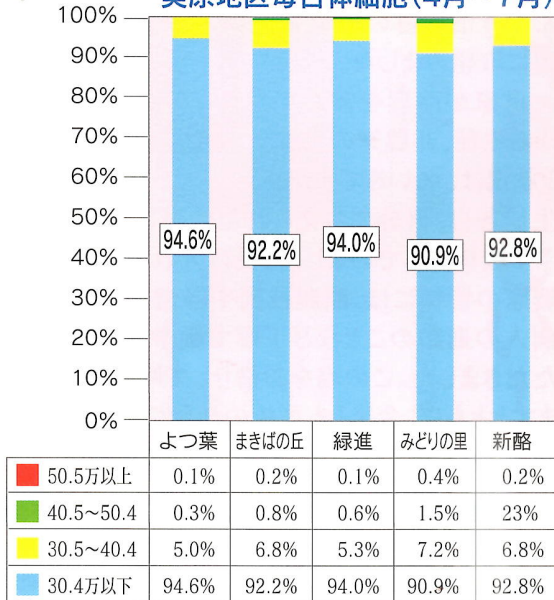
”安全で良質”な生乳生産に努めましょう

※ポジティブリスト制度に基づき生産履歴の記帳保存が義務付けられています。

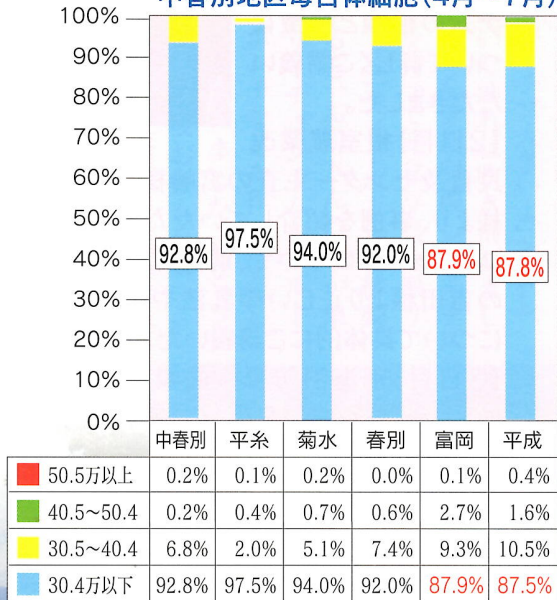
豊原地区毎日体細胞(4月～7月)



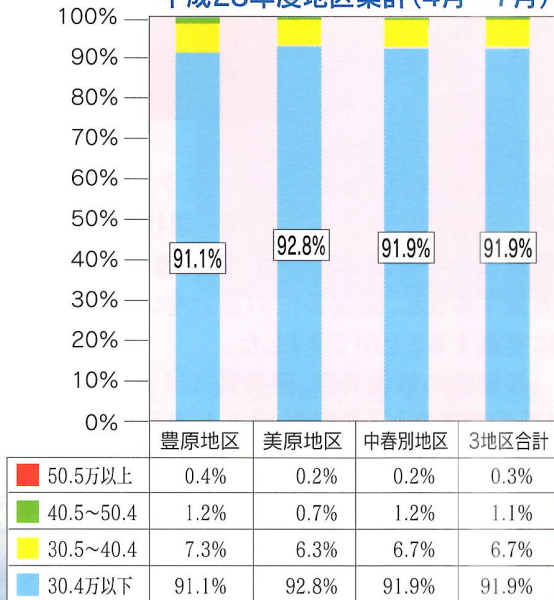
美原地区毎日体細胞(4月～7月)



中春別地区毎日体細胞(4月～7月)

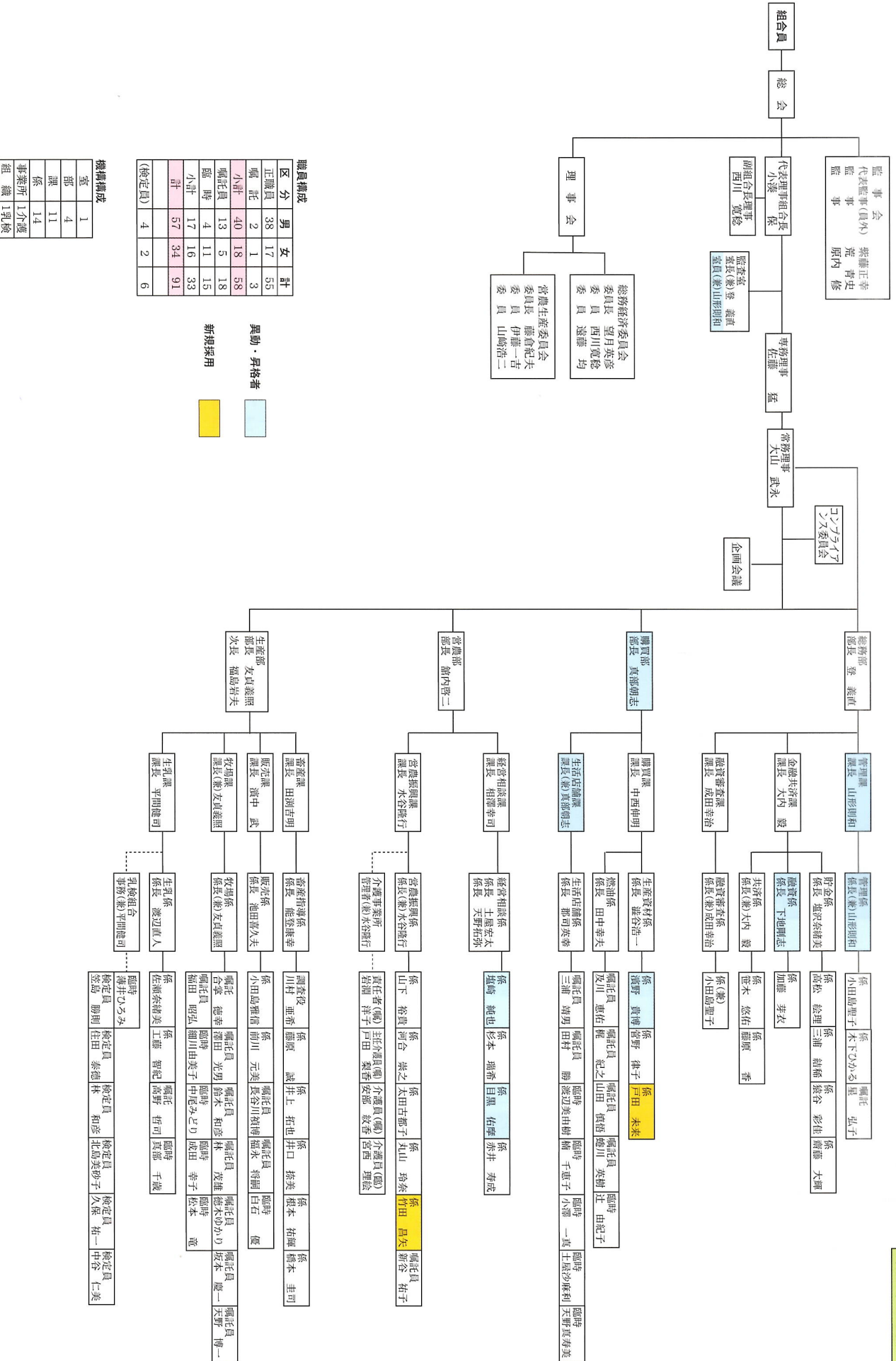


平成28年度地区集計(4月～7月)



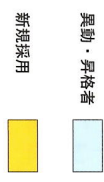
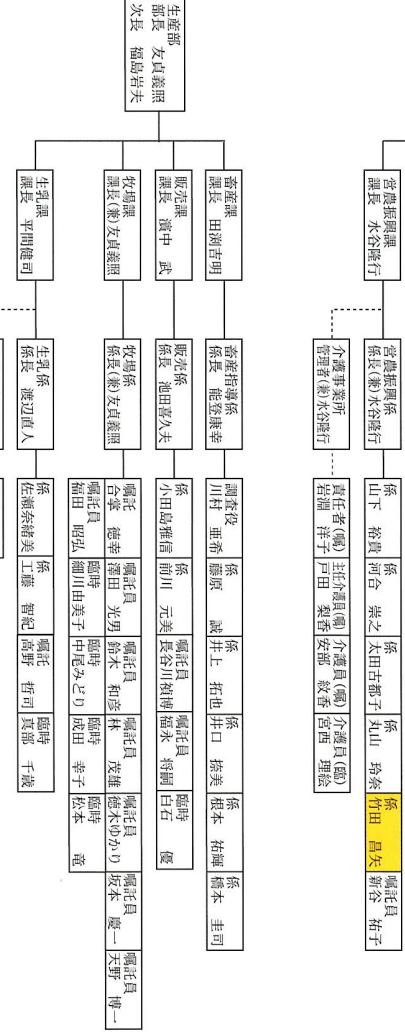
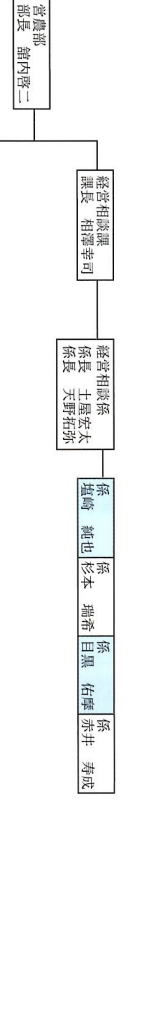
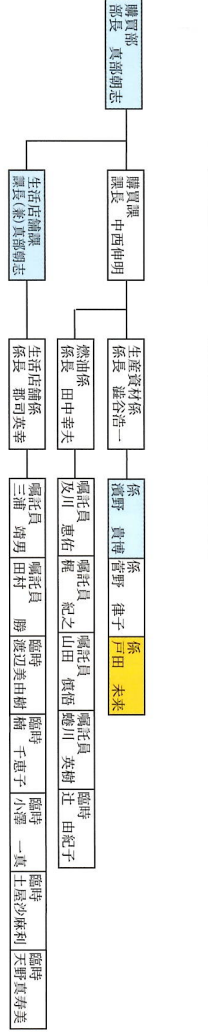
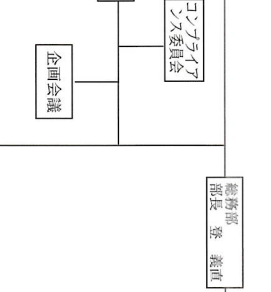
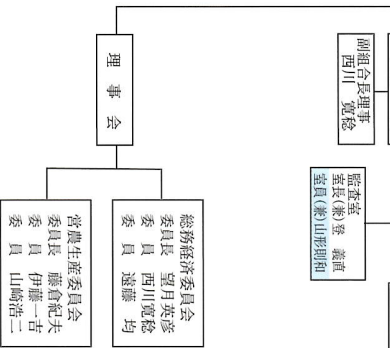
JJA中春別 組織機構図と職員配置図

平成28年7月1日現在



監事会
代表監事(員外) 柴藤正幸
監事 荒青史修
原内 修

組合員
総会



職員構成

区分	男	女	計
正職員	38	17	55
嘱託	2	1	3
小計	40	18	58
嘱託員	13	5	18
臨時	4	11	15
小計	17	16	33
計	57	34	91
(検定員)	4	2	6

第6回 理事会の動き

平成28年7月25日(月)

議案

1. 第18回「宵の市」の開催について
2. コンプライアンス関連規程類及びマニュアルの一部改正について
3. 経営統制の確立に向けた関連規程類の整備について
4. 規程類の一部改正及び廃止について
5. 固定資産の取得について
6. 平成28営農年度財産造成に伴う資金の借入・貸付について
7. 組合員取引名義の変更について
8. 平成28営農年度クミカン取引に係る貸越極度額及び供給限度額の認定について
9. 平成28年度飼料生産型酪農経営支援事業について
10. 平成28年度JA中春別生乳計画生産目標数量の設定について
11. 搾乳舎等酪農研修施設建設工事に係る入札等の取り進めについて

報告事項

1. 組合員の加入について
2. 組合員の脱退について
3. 職員の退職について
4. 人事の発令並びに新規採用辞令の発令について
5. 緊急事態発生対策・火災発生対策機構図の変更について
6. 平成28年度6月末財務状況について
7. 平成28年度6月末購買事業実績について
8. 平成28年度6月末営農生産関連実績について
9. 臨時休業(盂蘭盆)について
10. 平成28年度全酪連海外研修の参加について
11. 店舗利用者懇談会の開催について
12. 固定資産の取得について
13. 固定資産の取得について

6月 乳質乳価一覧表

(単位:円/kg)

6月分乳代支払単価

				単価	算出基礎	支乳乳価	前年同期	差	項目	単価(円)/(kg)%	
乳脂肪分				911.280		35.18	35.48	0.60	乳脂肪分①	35円18銭	
無脂乳固形分				576.119		50.36	50.07	0.29	無脂乳固形分②	50円36銭	
補給金				4.5143		4.51	4.48	0.03	補給金③	4円51銭	
計画チーズ奨励金				1.6801		1.68	1.73	-0.05	チーズ奨励金④	1円68銭	
乳質単価	生菌数	ランク1	2	322,224,650.8kg	3.72	3.71	0.01	0.01	脂肪率	全道	3.86%
		ランク2	0	6,040,654.5kg					農協	3.95%	
		ランク3	-3	221,933.8kg					無脂固形分率	全道	8.74%
	体細胞数	ランク1	2	279,376,614.6kg					農協	8.71%	
		ランク2	1	26,514,646.9kg					成分乳価	全道	91円73銭
		ランク3	-2	3,819,731.4kg					①+②+③+④=⑤	農協	90円67銭
合計					95.45	94.57	0.88	乳質乳価⑥	全道	3円72銭	
									乳代合計	全道	95円45銭
									⑤+⑥	農協	94円42銭
									⑤+⑥	差異	-1円3銭

I N F O R M A T I O N

臨時休業(お盆)のお知らせ

休業

事務所名	日程		8月15日(月)	8月16日(火)
事務所(除く信用)	休	業	休	業
事務所信用窓口	平	常	業	務
Aコープ中春別	休	業	午前9時~午後3時まで営業 (店頭販売のみ)	午前9時~午後3時まで営業 (店頭販売のみ)
給油所	午前8時~午後3時まで営業 (セルフ・店頭給油のみ)	休	業	午前8時~午後3時まで営業 (セルフ・店頭給油のみ)
倉庫	休	業	平	常
訪問介護事業所「あさひな」	サ	ー	ビ	ス
人工授精	平	常	業	務
共和牧場	平	常	業	務
生乳	平	常	業	務
侷中春別マシンセンター	休	業	休	業
侷ジェイエー・ワンブ	休	業	休	業

◎緊急時の連絡先

①給油について

(緊急携帯) 田中係長 080-6090-2923

②飼料等について

(緊急携帯) 別海貨物(山口)
090-5072-3956

③店舗について

(緊急携帯) 郡司係長 090-2696-2702

④侷中春別マシンセンター

(緊急携帯) 佐藤専務 090-9759-6449

(緊急携帯) 土屋工場長 080-6086-3273

⑤侷ジェイエー・ワンブ

(緊急携帯) 山田専務 090-8426-6465

(緊急携帯) 久保山課長 090-1529-9846

交通事故ゼロを目指して



地元地域住民、農協職員による交通安全街頭啓発の呼びかけが7月11日(月)、中春別駐在所前にて行われました。

毎年、交通事故が多発する時期を迎えることから事故の防止、安全運転の呼びかけ、一人ひとりの交通安全に対する意識向上を目的として行われています。

当日は地元町内会、農協職員など約20人の方々の協力のもと道行くドライバーにべつかい牛乳を配布しながら交通安全の事故防止を呼びかけました。少しでも事故が減るように安全運転を心がけていただきたいです。



被災地の1日も早い復興を心よりお祈り申し上げます

総額円2,289,388(6月24日現在)

4月25日より中春別農協事務所にて義援金箱を設置し、実施しておりました熊本地震の義援金について、皆様方のご協力により、6月24日現在で総額2,289,388円の義援金が集まりました。

義援金につきましては、被災地におきまして早急な復興作業が行われることを願い、J A中央会、中酪熊本震災義援金、災害対策酪農団体協議会、熊本県農協青壮年部協議会を通し送金いたしました。ご協力いただきました皆様方には心よりお礼申し上げます。



皆様方のご協力ありがとうございました

組合員の 広 場



「エコクラフト」で作ったバッグby阿部郁子



今月号の組合員の広場は「私の趣味」4月号でご紹介しました阿部郁子さんの作品を掲載いたしました。組合員の広場では習字や俳句、短歌、絵画、写真など多数の作品を募集しております。管農振興課丸山までお気軽にご連絡ください。



高砂

阿部 郁子

文化刺繍の作品「高砂」by阿部郁子